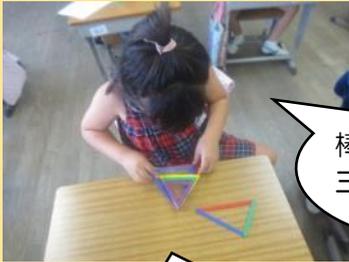


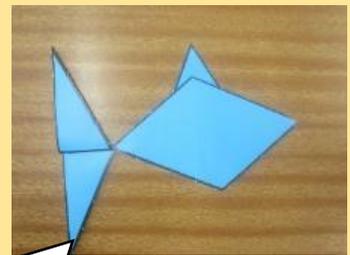
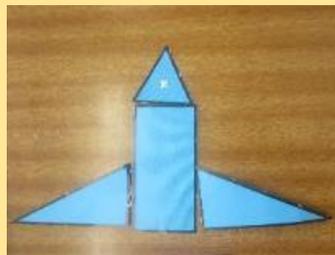
身近なものの中に、いろいろな形があることを見だし、それらを生かした活動に取り組んだ。5歳児では空き箱製作などを通して形に親しんできた。1年生は箱や缶を用いて形の構成要素に気付く活動を行い、それを基にして図画工作科の作品づくりに生かしていった。2年生では、それらの経験から数え棒を並べる活動を通して、平面図形の構成要素に気付かせる環境づくりを行った。作った作品を5歳児が見ることで、運動会の万国旗の作成において、「まる」や「しかく」があることに気付く姿があった。

●2年生（算数「三角形と四角形」）

単元導入部で数え棒などを使用し、形への興味・関心を深めた。実際に手元で動かせるおもちゃを活用することで、創意工夫ができ、試行錯誤することで多くの形を作ったり、また数え棒の活動に戻ったりして構成要素に気付くことができるようにした。



棒を3本使うと
三角形になりそう。



どんな形にしようかな。

三角形と四角形を組み合わせたら、
いろいろな形ができたよ。

●1年生（算数「かたちあそび」）

空き箱や空き缶を積み上げたり分類したりする活動や、それらの形を写し取る活動を通して、立体図形や平面図形に親しんだ。



箱や缶の形を生かして、
高く積み上げられたよ。



これとこれ
には、まるい
形があるね。



いろいろな形を写し
取って、キリンをか
いたよ。

●5歳児（運動会の旗をつくろう）

1・2年生の作品を見て、身の回りに色々な形があることを知り、自分たちが作った万国旗にも、形が隠れていることに気付いた。

面白い形が
あるね。私も描いてみ
たいな。



身の回りには、色々な
形がたくさんあるね。

